

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	日々の介護記録は、利用者の思いやケアに対する反応、介護計画の実施が記入できる様式となっているが、その活用が十分でない。夜勤者への口頭にて申し送りをするが、介護記録から日中の様子がかみかず状態をつかみにくいなど支障がある。	介護記録を今以上に活用できるようにSOAPの記入の仕方の実習を通し本人の全人間性を知る。	実施したケアを振り返り、それを客観視し、言語化できるようにSOAPの記入徹底を通すことで、本人の状態の背景をえぐりだす。それが次のケアにつながって行く。	12ヶ月
2	38	「もの忘れ」によって混乱した「生きる意思」を見出すために、意図的なレクリエーションのプログラムを継続して提供し充実したものにする。	生活の中に「役割」をもち、「人との関わり」の充実を通して、安心した暮らしを取り戻し意欲の涵養を図って行く。	「もの忘れ」によって混乱した意思の中から本人の主訴とする目的に到達させる為、意図的なレクリエーションにより少しずつストレスを昇華させながら意欲を引き出し自分の意思に到達させるプログラムの精選を図っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。